

【資料編】

1 用語集

あ	
アクセス交通	端末交通機関乗り継ぎにおいて、出発地から幹線交通機関に乗るまでの交通機関。
アドベンチャートラベル	「自然との関連性、異文化体験、身体的活動（アクティビティ）の3要件のうち最低2つを含む旅行形態」(Adventure Travel Trade Association) を指し、例えばトレッキング、ラフティング、野生動物観察などのアクティビティが含まれる。 北海道では事業者や関係機関の協力の元、平成29年（2017年）6月に北海道運輸局が事務局となり、「北海道アドベンチャートラベル協議会（通称HATA[ハタ]）」が設立されている。
インターポーティング (Interporting)	同一航路で複数回のクルーズを繰り返し実施することで、複数港での乗下船ができることを言う。複数の港で乗下船が可能になることで乗客の利便性が増し、新しい需要につながっている。
インフラ整備	インフラ（インフラストラクチャー）、生活や産業の基盤となる公共設備を整え、充実させること。
オプションツアー (Optional Tour)	ツアー中の自由時間に別途の旅行代金を払って任意に参加する小旅行をオプションツアーという。クルーズでは、寄港地で催行されるツアーをオプションツアーという。ショアエクスカージョンともいわれる。
LCC	格安航空会社（Low Cost Carrier）の略。効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。
か	
海外見本市	クルーズ船関連事業者が参加して実施される見本市。クルーズ船誘致のための国や地域、クルーズ船社や、旅行会社、クルーズ船関連機械、サービスなどの事業者がPRをおこなう。米国マイアミで開催される「Seatrade Cruise Global」（シートレード・クルーズ・グローバル）が有名。
カジュアル船	一般大衆をメインターゲットにし、大型船を使って一度に大量の乗客を乗せることのできる船。ラグジュアリー船、プレミアム船と分類される。
観光立国推進基本計画	観光立国推進基本法に基づき作成された計画。現計画の計画期間は、平成29年度（2017年度）～令和2年度（2020年度）の4年間。
喫水	船が水に浮くとき、船体が水中に没している部分の深さ。船の最下部から水面までの垂直の長さをいう。（ドラフト（Draft））
キーパーソン	会社、組織の中で、特に大きな影響を及ぼす、「鍵となる人物」のこと。
クルーズ人口	船内1泊以上のクルーズを利用した乗客数。例えば、ワンナイトクルーズに乗船した場合も1名とカウントし、100泊の世界一周クルーズに乗船した場合も1名とカウントする。
クルーズターミナル	クルーズ船受入を目的にしたふ頭施設。CIQ対応などを行う。
港格	港湾の重要度によって指定される格付け。

国際拠点港湾	重要港湾のうち国際海上輸送網の拠点として政令により定められた港湾。
国際クルーズ拠点港	国際クルーズ拠点として国から指定を受けた港湾で、2019年、全国で9港が指定されている（横浜港・清水港・佐世保港・八代港・沖縄県本部港・沖縄県平良港・鹿児島港・下関港・那覇港）。 指定港湾では、港湾管理者と協定を締結した船社が旅客設備を整備し、その船社は岸壁を優先的に使用できるようになる。
さ	
市民クルーズ	地域住民（市民）向けにクルーズを親しんでもらうことを目的に、船社、市町村等の協力のもと実施するクルーズ。
重要港湾	国の利害に重大な関係を有する港湾で、政令で定められた港湾。
ショートクルーズ	3泊4日など、比較的短い期間でのクルーズ。日本、アジアなどでは、休暇取得期間に合わせ、短期日程でのクルーズが主である。
船内見学会	地域住民（市民）向けにクルーズを親しんでもらうことを目的に、寄港船社の協力により実施される船内の見学会。
総トン	船の大きさを表す単位。重さを表す単位ではなく、船全体の大きさ（容積）を示すものである。略して、GTなどと表記される。
C I Q	入出国手続き全般のことをCIQと言う。CはCustoms（税関）の略、IはImmigration（出入国管理）の略、QはQuarantine（検疫）の略。このうち、Quarantineはラテン語のQuaranta（40の意）に由来する。船が交通、交易の有力な手段であった時代には、船が疫病を持ち込むことを最も恐れた。もし入港しようとする船で疫病が発生していると、船を40日間沖止めして入港を差し止めた。40日経って疫病が鎮静していることを確認して初めて入港許可を出したことから、40(Quaranta)を意味するQuarantineが検疫と呼ばれるようになった。
た	
体験型観光	一次産業や伝統産業など、一般的な観光資源ではない地域資源などによる体験するプログラム。
体験クルーズ	クルーズを親しんでもらうことを目的に、船社、市町村等の協力のもと実施するクルーズ。
探検船	秘境、極地へのクルーズを行うことを主目的としたクルーズ船。比較的小さなクルーズ船を使用している場合が多く、小さな港へも寄港できる場合が多い。
地方港湾	港湾法上、国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾。
チャーター（クルーズ）	企業、団体などがクルーズ船を借り切って実施するクルーズのこと。全船を借り切る場合（フル・チャーター）や客室の一部を借り切る場合（ブロック・オフ・チャーター）などがある。また、船舶業界では用船者（他人の船舶を自己のために借用する者）のことをチャーターラーという場合もある。
定期・定点クルーズ	定期的に、一定コースを定期周遊する定期型クルーズ。
DMO（ディー・エム・オー）・日本版DMO	DMOは、Destination Management/Marketing Organizationの略で、幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する組織を言う。日本版DMOは、「地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの

	舵取り役として多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を実施するための調整能力を備えた法人」と位置付けられている。日本版 DMO は登録制であり、各地の観光協会などが DMO として登録されている。
テンドーボート	船が直接港に接岸できない場合に、本船と陸上を結ぶ小型船。本船に搭載されているボートのこと。「テンドー」と略したりする。緊急時には救命艇として使用される。
は	
背後地（圏）	港湾周辺の経済（観光）圏。港湾における寄港地観光造成、連携地域などの範囲、圏域を総称する場合が多い。
訪日プロモーション 地方連携事業	国と地方（道、市町村及び観光関係団体等）が広域に連携して取り組む訪日プロモーション事業。
ふ頭	船舶が接岸して荷役、旅客の乗降を行う場所。ふ頭は岸壁、物揚場だけを指すのではなく、接岸設備の背後に設けられている上屋、荷役機械、待合所など陸上施設を含めた広い範囲を指す。
フライ&クルーズ	飛行機での移動とクルーズを組み合わせた旅行のこと。海外で外国船に乗船する場合や、海外ロングクルーズ中の日本船に乗船する場合などがある。また、日本国内でも、乗下船する港の近くまで飛行機を利用するツアーなどがある。（新幹線、電車での移動の場合は、レール&クルーズ（下記参照））
ポートセールス	国内外のクルーズ船社等の本社、支店へ港湾管理者等が、港湾の状況、圏域の観光情報などのメリットを説明し、船舶を誘致すること。同時に利用者ニーズを把握するなど、施設整備や運営の改善につなげていく。
ま	
無料公衆無線LAN	無線LANを利用したインターネットへの接続を無料で提供するサービス。（W i - F i）
ら	
ランドオペレーター	旅行業者の依頼を受けて、旅行先のホテルやレストラン、バス、ガイド、鉄道などの手配・予約を専門に行う会社のこと。旅行サービス手配業、手配代行者、ツアーオペレーターと言う。
レール&クルーズ	新幹線や電車での移動とクルーズを組み合わせた旅行のこと。（飛行機で移動の場合は、フライ&クルーズ（上記参照））

2 有識者会議開催状況

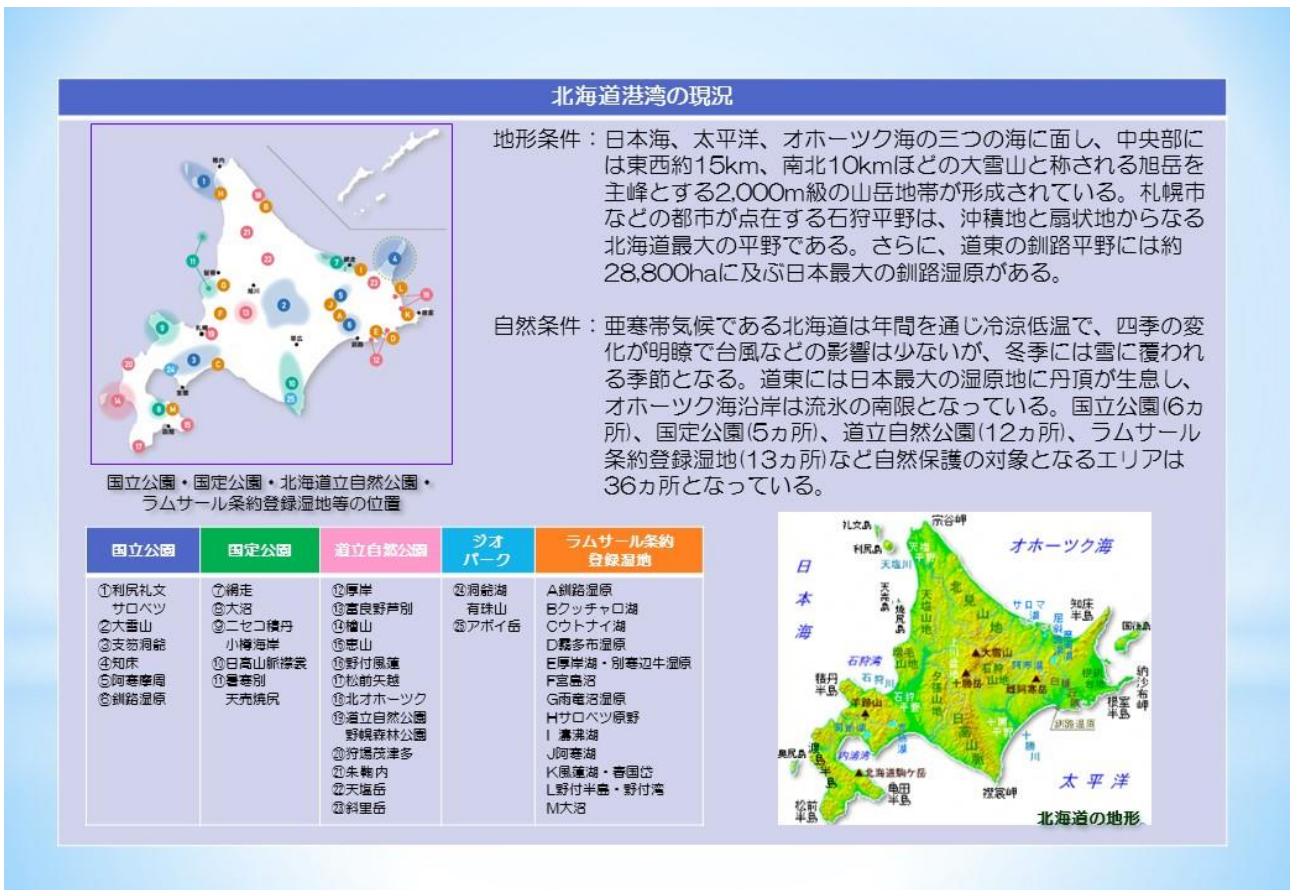
- ・ 第1回有識者会議 : 平成30年(2018年)10月11日
- ・ 道内有識者意見聴取 : 平成30年(2018年)11月20日
- ・ 第2回有識者会議 : 平成30年(2018年)12月3日

○有識者の概要

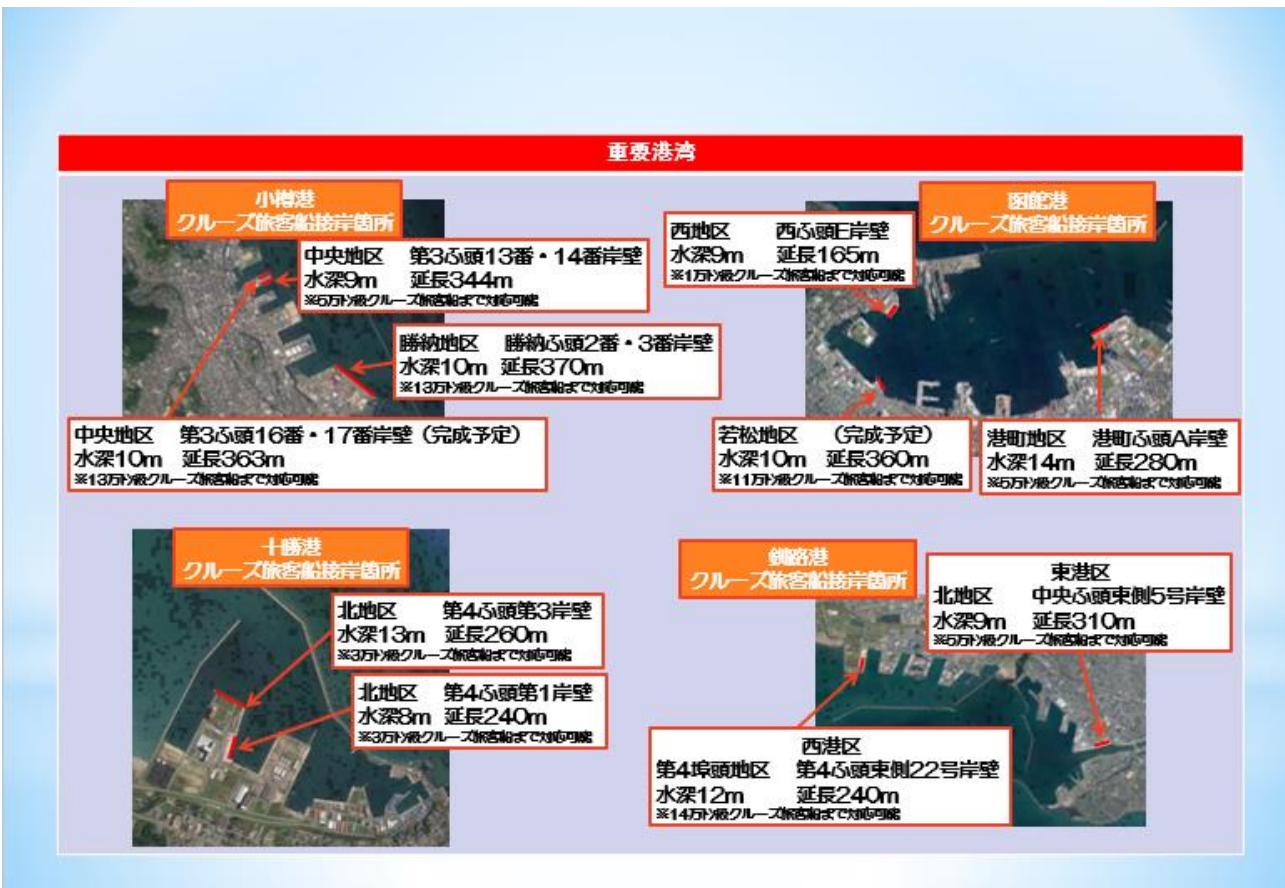
氏名	役職等
鈴木 勝	大阪観光大学名誉教授
山口 直彦	日本外航客船協会 会長
児島 得正	キュナード・ライン ジャパン代表
糸川 雄介	シルバーシー・クルーズ 日本・韓国支社長
沖田 一弘	日本海事新聞社 編集局次長
加藤 武	株式会社JTB 個人事業本部 リテール事業部 北海道中央エリア長

3 北海道港湾の概要など（北海道開発局資料を転記）

■ 港湾の概要



■クルーズ船の係留可能場所と最大船型



重要港湾



重要港湾



地方港湾



地方港湾



地方港湾



地方港湾



本港地区 新港東埠頭-8m岸壁
水深3m 延長266m
※3万t級クルーズ旅客船まで対応可能

岩内港
クルーズ旅客船接岸箇所

本港地区 南-7.5m岸壁
水深7.5m 延長260m
※3万t級クルーズ旅客船まで対応可能



瀬棚港
クルーズ旅客船接岸箇所



本港地区 -6.5m岸壁
水深6.5m 延長105m
※テンダーポート対応可能

奥尻港
クルーズ旅客船接岸箇所



本港地区 北埠頭-5.0m岸壁
水深5.0m 延長123m
※テンダーポート対応可能

江差港
クルーズ旅客船接岸箇所

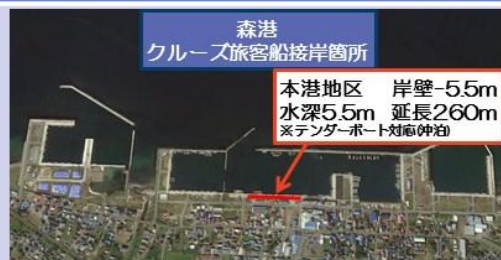
本港地区 南埠頭-5.5m岸壁
水深5.5m 延長245m
※テンダーポート対応可能

地方港湾



本港地区 物揚場(北)
水深4m 延長225m
※テンダーポート対応可能

般法華港
クルーズ旅客船接岸箇所



本港地区 岸壁-5.5m
水深5.5m 延長260m
※テンダーポート対応可能

森港
クルーズ旅客船接岸箇所



第2商港区 中央心頭第4岸壁
水深7.5m 延長130m
※3千t級クルーズ旅客船まで対応可能

白老港
クルーズ旅客船接岸箇所

第3商港区 西心頭第1岸壁
水深11m 延長240m
※3万t級クルーズ旅客船まで対応可能



本港地区 築地1号・2号岸壁
水深7.5m 延長260m
※3万t級クルーズ旅客船まで対応可能

浦河港
クルーズ旅客船接岸箇所

地方港湾



地方港湾



■各港湾の主な港湾施設状況

港格	港湾名 (ふ頭)	延長	水深
国際拠点 港湾	室蘭(中央)	241.0m	-9.0m
	室蘭(崎守)	540.0m	-14.0m
	苫小牧(入船)	330.0m	-14.0m
	苫小牧(北1,2)	260.0m	-7.5m
重要港湾	石狩湾新港	280.0m	-14.0m
	函館(港町)	280.0m	-14.0m
	函館(西)	165.0m	-9.0m
	函館(若松)	(360.0m)	(-10.0m)
	小樽(勝納2,3)	370.0m	-10.0m
	小樽(3号13,14)	344.0m	-9.0m
	小樽(3号16,17)	362.0m	(-10.0m)
	釧路((東)耐震)	310.0m	-9.0m
	釧路((西)第4)	410.0m	-12.0m
	留萌(古丹浜)	185.0m	-10.0m
	留萌(三泊)	241.0m	-12.0m
	稚内	360.0m	-12.0m
	十勝	260.0m	-13.0m
	紋別	240.0m	-12.0m
	網走(第4)	425.0m	-12.0m
	根室(花咲)	186.0m	-10.0m
	根室(根室)	195.0m	-6.0m
	地方港湾	宗谷	160.0m
枝幸		100.0m	-6.0m
霧多布		193.0m	-5.0m
えりも		70.0m	-5.0m
浦河		260.0m	-7.5m
白老		240.0m	-11.0m
森		260.0m	-5.5m
榎法華		225.0m	-4.0m
松前		90.0m	-5.5m
江差		245.0m	-5.5m
奥尻		105.0m	-6.5m
瀬棚		260.0m	-7.5m
岩内		266.0m	-8.0m
余市		221.0m	-5.0m
増毛		180.0m	-5.5m
羽幌		87.0m	-5.0m
焼尻		117.0m	-5.0m
天売		87.0m	-5.0m
天塩		130.0m	-6.0m
鴛泊		136.0m	-5.5m
鴛泊(鬼脇)		153.0m	-6.0m
杓形		160.0m	-7.5m
香深		160.0m	-6.0m
香深(船泊)	153.0m	-6.0m	

※石狩港を除く(施設なし)。

※延長、水深の()書きは、予定。



～北海道クルーズイメージイラスト～